

明倫小だより

第 特集 3 号
20. 5. 28
倉吉市余戸谷町3059
☎ 22-6175

いきいき わくわく 明倫の子ども

- あ 明るく元気な子 (健やかな体)
- お 思いやりのある子 (豊かな心)
- い いっぱい学ぶ子 (確かな学力)
- そら そらやるぞの意欲(たくましさ)

明倫をめざす学校像

- 一人一人が大切にされ、心の居場所のある学校
- 意欲的に学び、確かな学力を身につける学校
- うるおいと楽しさのある学校
- 地域から信頼される開かれた学校

明倫の音楽、音楽の明倫

芸術の秋、学校内では子ども達の歌声や楽器の演奏の音が聞こえてきます。時々来校者や電話での会話に「明倫小学校は音楽が盛んですね。」「合唱団が今年もがんばりましたね。」といったことを聞くことがあります。明倫小学校といえば音楽、音楽で活躍している明倫小学校というイメージがあるようです。もちろん子ども達が活躍しているのは音楽だけではありませんが、今号では明倫小学校と音楽に焦点を当ててみたいと思います。

校歌

「あおいそら あおいそら」で始まる校歌、校歌を抜きにしては明倫の音楽を語ることはできません。昭和6年に郷土が生んだ偉大な文学者、詩人河本緑石が作詞をし山本弥吉が原曲をつくりました。そして、後に江本登喜雄(昭和31年度～34年度本校校長)が編曲し現在に至っています。学校では機会あるごとに校歌を歌い学校への思いを強くしています。平成18年1月には未来中心で行われた河本緑石シンポジウムのオープニングで本校合唱団が校歌を歌い称賛を受けました。



音楽会

音楽学習の成果を保護者や地域の方に発表するものとして音楽会があります。音楽会に関して昭和22年の記録(学校沿革史)によると次のように書かれています。

7月15日 夜の会、戦時中から中絶のところ復活、午後7時から音楽舞踊劇等公開

この頃は、夜に音楽や踊り、劇等を一緒に公開していたようです。また、夜の会だけでなく学芸会を別に開催して音楽の公開も合わせてしている年もありました。昭和40年には「夜の会」を改善

して学芸会にし、昭和42年からは学芸会を音楽会に切り替えました。

昭和51年には現在地に校舎が移転した記念音楽会が開催されています。

- 1 1月27日 校舎移転音楽会開催。明倫の校舎移転という歴史の新しい一頁を表出するため、校内行事で歌われている「明倫の歌」を各学年一曲ずつ種目に入れて発表。父母に明倫の歌の理解を深め好評を得た。 1年一教科書まつりの歌
2年一新明倫音頭 3年一創立記念の歌 4年一明倫児童会の歌 5年一校歌
6年一移転祝歌 午前中児童対象、午後一般対象

音楽会と名称を変えて40年になりますが、児童一人一人の演奏技術の向上と心を合わせて音楽をつくっていく楽しさ、鑑賞力を高め音楽を愛する気持ちをもつ上で音楽会の果たしている役割は大きいものがあると考えます。時代や児童数の減少による種目構成等は変化しています。節目(創立70, 80, 90周年)には、それぞれ記念音楽会と銘打って開催(創立70周年音楽会には各学年児童作詞作曲のものを一曲入れて好評を得ています)しています。創立100年を迎える音楽会まで後2年となりました。



〈上:昭和50年度、下:平成11年度〉

音楽指導

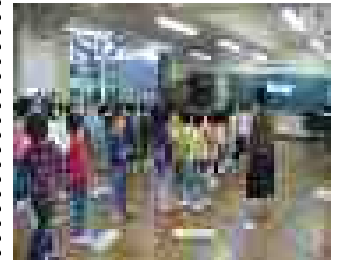
音楽の明倫と言われるには、これまで教科音楽をはじめ優れた音楽に関する指導とそれに応じてきた子ども達の姿があると考えます。倉吉市内はもちろん、中部地区や県内の中心的な音楽教育が実践されてきたことが記録からも分かります。

昭和36年6月2日 第4回鳥取県小学校音楽研究大会を本校に於いて開催。

中部小学校音楽主任のエキスパートが各研究テーマのもとに本校児童を対象として授業し、研究討議を行う。

平成元年11月25日 中四国音楽教育研究大会。5年学級授業公開、6年公開演奏。

平成14年11月6日 県小学校音楽教育研究大会兼中部小学校教育研究発表大会。各学年1学級ずつの授業と音楽集会を公開の後、全体会と低・中・高学年の分科会を持ち研究を深めた。



<音楽の学習場面>

課外音楽活動

合唱団や金管バンド（現在の呼称）の活躍も目を見張るものがあります。休憩時間や放課後等を使って練習を積み重ねた成果をあげています。

合唱団の活動は、昭和27年から記録があります。主なものを挙げると、

昭和27年10月4日 NHK歌唱コンクールに本校児童郡（中部）代表となる

昭和37年 NHK歌唱ラジオコンクール中部地区1位、県1位、中国地区3位（優良校）となる。

昭和48年12月25日 BSS音楽コンクール中国大会に県代表として出場する

昭和55年9月18日 NHK音楽コンクール30回参加表彰。

平成10年8月31日 NHK合唱コンクール県大会参加、金賞受賞。（本年度まで連続10年受賞）

平成12年9月16日 NHK合唱コンクール中国大会出場（本年度まで連続8回）等、ここに掲載できないほど活躍は素晴らしいものです。



<上:受賞のトロフィー等、下:中国大会>

金管バンドの活動は、東京オリンピックやわかとり国体等大きな行事を盛り上げたり、それを基に充実が図られたりしています。

昭和38年 鼓笛隊新設 5・6年約200名を持って鼓笛隊を編成。9月14日 市中行進を行う。10月22日聖火リレーコース美化大行進に参加市中行進。

昭和40年～50年 4月15日 花祭り 市内小中学校とともに鼓笛隊市中行進

昭和54年～現在 8月の倉吉打吹祭り市中パレード（市内の各小学校と合同）

昭和53年～現在 サマミュージックキャンプ（瀬田）、サマミュージックスクール（市内各小学校と合同）

昭和60年10月21日 国体開会式 ラグビー観戦。本校金管バンド隊24名は、上灘小、灘手小との金管バンド隊と合同でラグビー場のアトラクションに出演。ドリル演奏12分間、見事な隊列のパレードと演奏で満場の観客・選手に深い感銘を与えた。

昭和63年～現在 金管バンドフェスティバル参加

平成14年2月10日 管楽器合奏フェスティバル西日本大会に金管バンド出場



そして、今 児童数の減少や教育活動の多様化等にともない音楽活動の分野に於いても変化が起きています。しかし、「明倫の音楽 音楽の明倫」を引継ぎながら新たな音楽活動の動きもあります。教科音楽の指導の充実はもちろんですが、各種学校行事には前述の「教科書まつりの歌」「創立記念の歌」の他「プール開きの歌」「運動会の歌」「五倫の森の歌」等本校独自の歌で行事を盛り上げています。

課外音楽活動でも素晴らしい成果を上げているのは前述の通りです。合唱団、金管バンドとも子ども達が意欲的に取り組み、新たな音楽祭やパレードにも参加したりしています。

また、3学期には子ども達を中心となってカラオケ大会を開催し、大いに盛り上がっています。明倫の音楽の継承と創造に励んでいます。（平成19年度「明倫小だより第10号より」）

